

看護経済・政策研究学会シンポジウム

医療安全に必要な投資と負担

日時：2010年3月20日(土)13:00～16:40

会場：順天堂大学「有山記念館3階講堂」

〒113-8421 文京区本郷2丁目1番1号

定員：250名 要申し込み 先着順

参加費：非会員2000円 会員1000円 学生1000円

プログラム

13:00～13:05 挨拶 熊本大学大学院社会文化科学研究科教授 安川文朗 氏

13:05～14:35

第一部 シンポジウム「医療安全のためのコスト:誰がどこにどれだけ負担するか」

1)医療安全に必要な投資のあり方

熊本大学大学院社会文化科学研究科教授 安川文朗 氏

2)病院における医療安全投資の実態と課題

名古屋市立大学病院副病院長 三島 晃 氏

3)医療安全水準のベンチマークづくりとコストのあり方

ヘルスケアリサーチ代表取締役社長 野村真弓 氏

14:45～16:30

第二部 研究発表「急性期病院における転倒予防対策の開発と費用効果」

—臨床と看護系大学院とのコラボレーションによるアウトカム・マネジメント—

1)IT化した転倒リスクアセスメントツールの開発

公立陶生病院看護管理部長 森田恵美子 氏

2)患者の転倒リスクに対応した転倒防止対策の開発

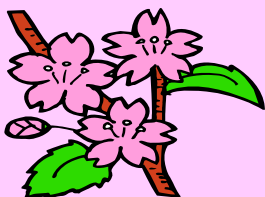
元愛知県立看護大学看護学研究科 大木裕子 氏

3)看護師へのIT化した転倒予防対策教育プログラムの開発と効果

愛知県立大学大学院看護学研究科 長縄恵美子 氏

4)転倒予防対策の費用効果分析

順天堂大学大学院医療看護学研究科教授 飯島佐知子 氏



主催 看護経済・政策研究学会